

元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2022年9月末に訓練を終了した36期生Aさん(当時17歳)に話を聞きました。

実習先の放課後等デイサービスとYSCグローバルスクールでは、歳の離れた弟や幼いところよく遊んでいたもので、対応に慣れていたし、話しかけてくれる歳の近い人とのコミュニケーションは楽しかった。

訓練中1番大変だったのは、2か所目に行った物流センターでの実習。広い職場の商品位置など覚えることが多いし、やったことがないことも多かった。でも「ウチで働いてみれば?」とパートのおばさんたちに言ってもらえたのは嬉しかった。

8月後半から就活を始めたが、学歴もなく年齢的なこともあってか、応募してもうまくいかなかったので、声をかけてもらった実習先の物流センターで10月からフルタイムで働き始めた。しかし、体調を崩すようになり、病院へ行っても原因が分からず、休みがちになってしまった。物流センターの担当者から実習先の窓口である多摩サポに「これ以上休みが続くと・・・」と連絡が入ったことを知り、迷惑をかけられないと思い、ひと月ほどで退職した。

家族と東海地方に住み、生活保護を受給していた。退所後は一人暮らしを考えていたが、家探しは年齢で断られることも多く難航。しかし、YSCで紹介された不動産屋さんが、自分の状況を考慮し、知り合いの不動産屋さんを通じて、あるオーナーさんに繋いでくださり「若いし頑張っているし、よかったらどうぞ」と快く貸してくれた。

物流センターを退職後、多摩サポに通いながら就活をしたが、なかなか決まらず、今年の1月～2月は実家に戻り家族と過ごした。3月東京に戻り、多摩サポで就活を再開。経験はなかったが、警備に2件応募し、1件は生保受給を理由に断られた。もう1件は合格。自分を一人の人間として優しく接してくれる職場なのでとても気に入っている。7月1日から働き始めたが、猛暑の中での警備は想像以上に大変だった。水道工事や建築中の搬入車両の交通の警備が主。長い時は5時間立ちっぱなしの時もあり、一度だけ熱中症になり、病院へ行き点滴を打ってもらった。半年間は週4日の予定。この仕事を始めて感じるのは、クレマーが多いこと。片側通行の“お願い”では、待てない人、停止位置で止まってくれない車も多く、直接クレームを言われることもあるが、“お願い”をして謝るしかない。おかげで忍耐力がついた。時々「若いのにエライね!」と褒めてもらえることも。今後は2級警備士の資格を目指してがんばろうと思う。

Aさんの利用開始半年前に2歳上の実兄が訓練を利用し、同様に都内で一人暮らしをスタート。家族と離れ自立の道を進んでほしいという、熱心なケースワーカーさんの尽力もあり、きょうだいで利用となりました。

◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】16歳～42歳 【平均年齢】26.6歳

【状況】訓練生1名、寮生2名のバイトが決まりました。3名とも得意なことを生かしたり、好きな分野の仕事に就くことができました。まずは週2～3日からですが、まずはムリのないところから継続を目標にがんばりましょう。

◇編集後記◇

やっと・・・やっと暑さから解放された感じがします。野菜の値段や味にもかなり影響が出ているようで、寮の献立にも何らかの影響が出るのでしょうか? 10月の最低賃金改定で全国平均が1004円と、初めて1000円の大台に乗り、東京は41円アップの1113円となる予定です。物価も上がってはいますが、時給1113円が就労意欲の後押しになりますように(一人一)

今月の1枚



駄菓子屋前のたまり場のような光景ですが、寮1階のピロティです♪